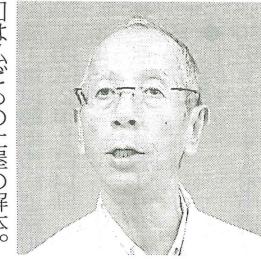


築堤工事現場でワークショップ

北中社長

による測量と、次元設計
データを作成。データを活
用したマシンコントロール
での自動制御によるICT
施工など最新の土木技術を
体験しながら講義で学んだ
施工管理を確認した。



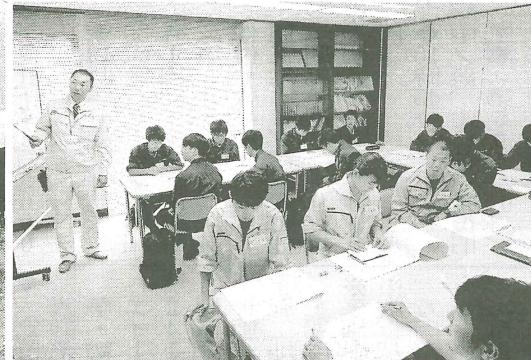
回は私どもの社屋の解体。
今回は第二回ということで、「準備工
建設業界の仕事を変えると
はどのくらい
言われるICT活用の現場、
をぜひ一度見ていただきたい
から」「I
またそれぞれ学校に戻って
話をしてください」と挨拶
した。

現場に移動し、ドローン

率がどれくらい
れるによ
つて作業の効
率がどれくら
れるのか」「I
CTを取り入
れた。



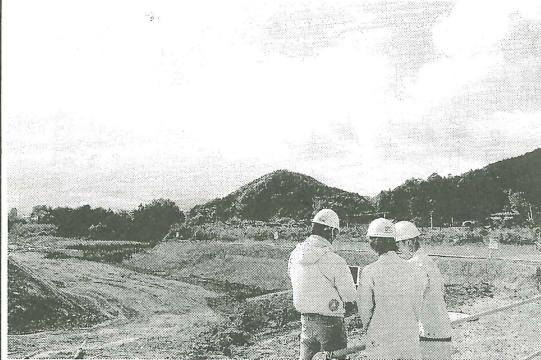
ICT建機を体験



概要説明の様子



築堤工事現場



ドローン測量



ドローンでの記念撮影

ワークショップは、建設
業界の将来の人材確保のた
め同社創業100周年記念
企画として催し、3月の京
都工学院高校に続く2回目
の開催。

集合場所の金庫ふれあい
センター（福知山市大江町
金屋1229-1）でオリ
エンテーションが行われ、
工事工程や築堤工事の意義、
施工管理について学習した。
冒頭、北中社長は「10
0周年の記念事業でワーク
ショップ始めました。第一

ICT施工・管理を学ぶ

長 村 組

(株)長村組（北中孝幸代表
取締役社長）が福知山市で
ワークショップを開催。豊
岡総合高等学校と舞鶴工業
高等専門学校の生徒や教員
計19人が参加し、阿良須地
区引谷川の築堤工事現場で
ICT活用工事等を見学し
た。